

## 三月議会一般質問

山根議員

### (1) 安心できる医療の充実について

国民健康保険について

貧困と格差が広がる中で、国保加入者も増えている。国保税が払えない、高い医療費が払えないなど経済的理由で病気になっても受診をさし控えてしまったために病気が悪化してしまう事態が起こっている。

安心できる医療の充実を求め以下質問する。

- ア 国保税の滞納世帯数と短期保険証の発行数は、所得階層ではどのようになっているか。
- イ 滞納者に対する市の対応はどのようになっているか。
- ウ 誰もが安心して医療にかかれるよう、国保税を軽減すべきと思うがどうか。
- エ 国や東京都に対して今後も補助金の増額を求めていく必要があると思うがどうか。

高齢者の肺炎球菌ワクチンの助成について

高齢者を中心に肺炎で亡くなる人は年間8万人にも達しているといわれている、こうした中でインフルエンザや肺炎球菌ワクチンなど高齢者への予防接種の重要性が増している。肺炎球菌ワクチン接種については、5年間その持続効果があるといわれている。しかし、ワクチンは、接種については料金が高いことから、その費用の一部を助成する自治体もある。当市においても今年度助成の予算が計上された。助成の具体的な内容とその周知について問う。

### (2) 市内の公共交通について

毎日の生活をしていく上で足の確保は欠かせない重要な課題と考える。これまでも、再三議会で取り上げ質問してきたところである。今後、市内の公共交通の充実に早期にとり組むよう求め以下質問する。

路線バスの本数が減る中、市民から市内循環バスを走らせてほしいとの強い要望が寄せられる中、平成12年10月より市内循環バスが運行され11年が経過した。この間、4回「循環バス等検討委員会」で議論を重ね、当初走っていなかった小川地域・五日市地域にも運行するなど、いくつかの改善を行ってきた。しかし、いまだにバス1台のため運行本数も少なく、市民から増発・増便など改善要望がたくさん寄せられていることは承知のとおりである。平成20年8月に設置された、庁内職員で構成するあきる野市循環バス等地域公共交通検討委員会の検討結果を踏まえ、当分の間1台のままで行くとのことだが、早急に改善をすべきと思うが今後改善の予定はあるか。

五日市地域の交通不便対策をどのように考えているか。また、観光対策としても、多くの観光客を迎えるためにも交通対策は欠かせないと思うがどうか。

交通空白地域に対する対策として、地域住民との連携による新たな手法を検討するとの方針が出されたが、その後具体的な進展はあるか。

### (3) 高齢者の見守りについて

東京・立川市で起こった母子の孤独死、さいたま市の3人の死亡事件など、都市部での「孤独死」の報道が相次いで衝撃を受けている。

こうしたことを防ぐためにも、見守りは重要な施策の一つと考える。よりいっそうの見守り施策の充実を求め以下質問する。

昨年12月議会で、高齢者の見守りの一つとして、配食サービスの利用者を増やすための改善策を求めたのに対し、料金を安くすることを検討したいとのことであったが、具体的な改善策とその周知について。

見守り活動としての乳酸菌飲料の配達について具体的内容は、

見守り活動の中で、どのような声が寄せられているか。また寄せられた声に対する市の対応は、